

## 山行報告 折戸岳（笠新道から）

2018年5月19、20日

L：柴田 メンバー：K、久保田J

一日目 小雨後晴れ

新穂高温泉登山者駐車場で仮眠をとり、7時過ぎ小雨の降る中、雨具を着て出発する。登山指導所で計画書をポストイン。計画書提出済証を持って、左俣林道に行く。同じころ出発した若者3人パーティは、右俣に向かったようだ。左俣に向かったのは私たちだけ。昨日からの雨の影響で、左俣は濁流だ。でも天候はこの後回復してくる予報なので問題ない。



林道沿いの雪は、ほとんど消えている。

1時間ほどで、笠新道登山口（標高1350m）に着く。

笠新道は長い急登だ。数年前にクリヤ谷を登って、笠新道を下山しているが、笠新道の記憶があまりない。

今日は、笠ヶ岳山頂直下の山荘に幕営する予定で登り始める。

林道脇・登山口あたりではイワカガミが咲いている。

ツツジ・ガクアジサイ・コブシ・シロヤシオが見ごろで、山桜も咲き始めている。



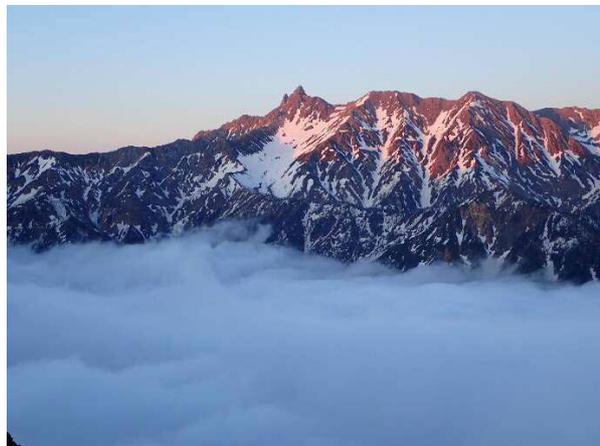
標高2000mを超すあたりから雪が現れる。

雲が切れ、背後に穂高の山並みが現れる。おかげで、きつい登りにちょっとやる気が出る。

夏道は残雪で、途切れ始める。夏道を探しながら、雪面のトラバースや直登を繰り返す。夏道が無視して登坂出来ればよいのだが、藪漕ぎになったり、雪壁だったり、なかなかうまく繋がれず、時間と体力を消耗する。



今日中に、山荘前まで行くのは無理になり、杓子平幕営に計画変更した。標高2400mの杓子平に着いたのは、16時頃。ハイ松の間に、幕営跡を見つけそこを整備して、幕営地とする。わいてきたガスも取れ、槍、穂高の山並みがモルゲンロードに、赤く染まる。



今回の夕食は、GW山行で計画していたパエリア。山では自分自身は作ったことがなく、会に入った当時の春山山行で、花村リーダーの毛勝三山で食べた時からの思いがやっと達成。まあまあ出来で、メンバーも美味しいと言ってくれた。お世辞かもしれないが。

2日目

5時過ぎに出発。快晴だ。

尾根沿いのハイ松沿いに登り始める。



出発から30分位で、Jさんが遅れだす。体調不良のようで、引き返すか相談。結果、Jさんはハイ松の陰で待機し、K君と私の二人で抜戸岳を往復することにする。山頂近くなるに従い、角度を増してきた斜面、最後の登りは雪壁だ。垂直の壁を一登りして山頂に着く。360度の展望を楽しみ、早々に下山を始める。途中、ツェルトにくるまって待機中のJさんとともに幕営地に戻る。テントを片付け下山を開始するが、雪面を繋ぎながら降りようとするも、なかなか繋がらず四苦八苦する。2000mあたりでアイゼンを外し、花を楽しみながら登山口まで下りる。

